

平成21年度新規観光圏整備実施計画認定対象地域(14地域)概要

管轄	観光圏名	協議会名	目指す観光圏の姿 (キーコンセプト)
北海道	知床観光圏 【北海道: 斜里町、羅臼町、標津町、清里町】	知床観光圏協議会(H21.1～)	○「さらなる未知へさそう旅」をキャッチフレーズに、知床全域にフィールドを拡大し一年を通じて知床半島ならではの豊かな自然や美しい農村景観、新鮮な農水産物を満喫してもらう自然体験型観光圏。自然に負荷をかけない観光を目指し、自然環境と観光の共生を図る。
	さっぽろ広域観光圏 【北海道: 札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村】	さっぽろ広域観光圏推進協議会(H21.2～)	○「都会派も、自然派も、ようこそ！さっぽろ圏」をキャッチフレーズに、主に道外客をターゲットとして、札幌滞在の都市型観光に加え、少しの移動で存分に豊かな自然や新鮮な農産物といった資源を活かした農業体験を満喫できる北海道の魅力が詰まった観光圏。
東北	新たな青森の旅・十和田湖広域観光圏 【青森県: 青森市、八戸市、十和田市、三沢市、七戸町、六戸町、東北町、おいらせ町】	新たな青森の旅・十和田湖広域観光協議会(H20.7～)	○「環境と共生した広域観光圏づくり」を共通コンセプトに、十和田湖と八甲田山等の自然と生活を未来にも継承させつつ観光客に堪能してもらうため、本地域ならではの自然と共生した生活文化の体験という観光スタイルとルールを確立することをテーマとした観光圏。 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金により、農林水産物直売・食材提供供給施設を整備する。
	日本海きらきら羽越観光圏 【秋田県: にかほ市 / 山形県: 鶴岡市、酒田市、戸沢村、三川町、庄内町、遊佐町 / 新潟県: 村上市、関川村、粟島浦村】	日本海きらきら羽越観光圏推進協議会(H21.2～)	○「日本海、山の神々、舟運、食を通じたおもてなし」をテーマに、かつて松尾芭蕉が「奥の細道」で旅をした地域について、北部は「鳥海山トレッキングと飛鳥わくわく体験」、中部は「食の都庄内と出羽三山精神文化」、南部は「日本海の神秘的な夕日と粟島体験」をテーマにした周遊型観光圏を目指す。
関東	日光観光圏 【栃木県: 日光市(旧今市市、旧日光市、旧藤原町、旧足尾町、旧栗山村)】	日光観光圏協議会(H21.1～)	○日光市の目指す将来像「四季の彩りに 風薫る ひかりの郷」の実現を図るため、恵まれた農山村の風景等の自然資源、歴史・文化資源、農林業や工業の産業資源等の観光資源の特性を生かし、従前単独地区で実施している取り組みを、合併を機に新市全体にまで広がりを持たせるとともに連携を図り、世界ブランド日光を活かした観光圏を目指す。
北陸	富山湾・黒部峡谷・越中にかわ観光圏 【富山県: 魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町】	一般社団法人富山湾・黒部峡谷・越中にかわ観光圏協議会(H21.2～)	○首都圏の団塊世代をターゲットに、3000m級の山から深海1000mまでの高低差ある大自然の中、富山湾、飲み水、食、温泉、峡谷の「水の旅」をウリとした観光圏。
	能登半島観光圏 【石川県: 七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町】	能登半島観光圏整備推進協議会(H21.2～)	○「能登はやさしや土までも、四季折々の感動半島」をキャッチフレーズに、和倉温泉に宿泊する観光客に、もう少し滞在時間を伸ばして、圏域内の周遊や体験で能登のやさしさを体感してもらおうとする観光圏。
中部	福井坂井広域観光圏 【福井県: 福井市、あわら市、坂井市、永平寺町】	福井坂井広域観光圏推進協議会(H21.2～)	○北陸新幹線の金沢延伸を睨み、首都圏をターゲットにさらに足を伸ばしてもらい、「越前がに」「越前そば」「こしひかり」のほんものを体感できるとともに、当地ならではの本場ものの農漁業・文化・歴史を体験できることをウリとした観光圏。
	浜名湖観光圏 【静岡県: 浜松市、湖西市、新居町】	浜名湖観光圏整備推進協議会(H20.12～)	○「浜名湖＝うなぎ」のブランド力を強化しつつ、環浜名湖の広域で「花の浜名湖」ブランドを加味した農林水産資源の活用による体験型観光や歴史・産業などの新しい観光ブランドを創出。 ○中京圏・首都圏・静岡空港利用者をターゲットに、①女性向け食と花をテーマとした体験型、②熟年夫婦向け健康と知的な好奇心をテーマとした旅、等をモデルプランとして事業を展開。
近畿	びわ湖・近江路観光圏 【滋賀県: 彦根市、長浜市、東近江市、米原市、安土町、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町、虎姫町、湖北町、高月町、木之本町、余呉町、西浅井町】	びわ湖・近江路観光圏協議会(H20.8～)	○近江商人の理念である「三方よし」をもじった「水よし、里よし、人情よし」のコンセプトの下、首都圏客もターゲットとして、彦根・長浜への通過型観光客や京都への入込客を、自然豊かな奥びわ湖地域や歴史と文化のある東近江地区へと誘客し宿泊させる。
	聖地熊野を核とした癒しと蘇りの観光圏 【和歌山県: 田辺市 / 奈良県: 十津川村】	聖地熊野を核とした癒しと蘇りの観光圏協議会(H20.12～)	○「健心」「健脚」「健浴」「健食」をテーマに、首都圏の60代、関西圏の30代、欧米からの外国人をターゲットに「癒しと蘇り」の旅を提供する観光圏。
四国	四万十・足摺エリア(幡多地域)観光圏 【高知県: 四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村】	四万十・足摺エリア(幡多地域)観光圏協議会(H21.1～)	○これまで教育旅行や「であい博」で培ってきた体験型メニューづくりをさらに進めながら、周遊の利便性を高めること等により、個人客・外国人客でも長期滞在できる観光圏を形成(特に首都圏向けに新たなマーケット開拓)。さらに「子ども農山漁村交流プロジェクト」の受入モデル地域にも指定されており、広域連携、産業間連携によるニューツーリズムの推進が期待される。
九州	平戸・佐世保・西海ロングステイ観光圏 【長崎県: 平戸市、佐世保市、西海市、鹿町町、江迎町】	平戸・佐世保・西海ロングステイ観光圏協議会(H21.2～)	○「海からはじまる西★遊記」をテーマに、集客性の高いハウステンボス、西海国立公園の自然、農林水産業と連携した体験、欧米の異文化、離島の魅力による滞在型観光圏を形成。
	雲仙天草観光圏 【長崎県: 島原市、雲仙市、南島原市 / 熊本県: 天草市、上天草市、苓北町】	雲仙天草観光圏協議会(H21.2～)	○「ジオミュージアム観光」を基本コンセプトとして、雲仙天草の自然の恵みと生活文化を五感で体感してもらうための、上質で多様性に満ちた観光コンテンツを提供することによって、国際的にも競争力のある転地滞在・交流型を目指す観光圏。